



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年7月31日

上場会社名 コタ株式会社 上場取引所 東証第一部
 コード番号 4923 URL http://www.cota.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小田 博英
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)廣瀬 俊二 TEL (0774) 44-4923
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の業績 (平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,148	△3.3	59	241.3	59	201.5	37	336.6
27年3月期第1四半期	1,188	14.5	17	△46.6	19	△43.2	8	△47.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
28年3月期第1四半期	円 銭 2.88	円 銭 —
27年3月期第1四半期	0.62	—

(注) 当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
28年3月期第1四半期	百万円 6,882	百万円 5,694	% 82.7
27年3月期	7,556	5,858	77.5

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 5,694百万円 27年3月期 5,858百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 18.00	円 銭 18.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	16.00	16.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。

3. 平成28年3月期の業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,598	2.8	218	16.1	211	11.1	144	15.9	10.98
通期	6,500	5.1	1,105	12.5	1,091	13.6	730	16.6	55.65

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期1Q	13,967,514株	27年3月期	13,967,514株
28年3月期1Q	852,527株	27年3月期	849,624株
28年3月期1Q	13,115,665株	27年3月期1Q	13,959,622株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融緩和策等を背景に、企業業績や雇用情勢に改善の動きが見られるなど、緩やかな回復基調で推移しました。

一方で、美容業界におきましては、来店客数の減少や客単価の伸び悩み等、依然、美容室にとって厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社におきましては創業精神である「美容業界の近代化」をベースに、独自のビジネスモデルである「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」と「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」を引き続き展開し、お取引先美容室の業績向上に向けた提案や経営に関する支援を行いました。

売上高につきましては、前年同四半期の実績が整髪料の新製品の発売により好調であった反動から、前年同四半期を下回りました。

また、売上原価につきましては、原価管理の見直し等を行っていることから、原価率は前年同四半期を下回りました。販売費及び一般管理費につきましては、前年に本社施設の一部改修費用に加え、新製品の販売に伴う販売促進費等を計上したことから、前年同四半期を下回りました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,148百万円（前年同四半期比3.3%減）、営業利益は59百万円（前年同四半期比241.3%増）、経常利益は59百万円（前年同四半期比201.5%増）、四半期純利益は37百万円（前年同四半期比336.6%増）となりました。

なお、当社は当第1四半期累計期間より美容室向け頭髪用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントへ変更しているため、セグメント情報の開示は行っておりませんが、売上高の内訳は、以下のとおりであります。

	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
トイレタリー	582	49.0	762	66.3	180	30.9
整髪料	426	35.9	217	19.0	△208	△48.9
カラー剤	71	6.0	66	5.8	△5	△7.1
育毛剤	38	3.2	40	3.5	1	4.9
パーマ剤	25	2.2	29	2.6	3	14.4
その他	44	3.7	32	2.8	△11	△26.0
合計	1,188	100.0	1,148	100.0	△39	△3.3

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期会計期間の総資産は、前事業年度から674百万円減少し、6,882百万円となりました。

主な要因としては、商品及び製品が192百万円増加し、有価証券が449百万円、受取手形及び売掛金が421百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間の負債は、前事業年度から510百万円減少し、1,187百万円となりました。

主な要因としては、未払法人税等が247百万円、未払金が221百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間の純資産は、前事業年度から163百万円減少し、5,694百万円となりました。

主な要因としては、利益剰余金159百万円が減少したことによるものであります。なお、自己資本比率は、82.7%（前事業年度77.5%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び四半期純利益につきましては、前年同四半期と比べ大幅な増益率となりましたが、その増加額は小さいものと判断しております。当社は営業戦略上、利益の構成比率は下半期のウエイトが大きく、特に第1四半期における利益額の構成比率は小さくなっております。

第2四半期以降につきましては、引き続き、非正規販売対策を背景としたお取引先美容室の業績向上に伴う販路の拡充に加え、夏の繁忙期において「コタ アイ ケア」を中心としたトイレットリー等の需要の増加が見込まれることから、平成27年5月8日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,741	52,258
受取手形及び売掛金	1,260,174	838,863
有価証券	2,202,484	1,752,673
商品及び製品	499,009	691,503
仕掛品	6,365	8,046
原材料及び貯蔵品	168,915	207,703
その他	124,056	135,986
流動資産合計	4,284,746	3,687,035
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,287,227	1,264,984
土地	1,158,906	1,158,906
その他(純額)	309,573	291,293
有形固定資産合計	2,755,706	2,715,184
無形固定資産	43,988	55,114
投資その他の資産	472,405	424,755
固定資産合計	3,272,100	3,195,054
資産合計	7,556,846	6,882,089
負債の部		
流動負債		
買掛金	126,395	103,666
未払金	441,265	219,571
未払法人税等	252,000	4,419
賞与引当金	182,984	83,413
役員賞与引当金	—	6,806
販売奨励引当金	41,610	50,124
その他	113,124	163,250
流動負債合計	1,157,379	631,250
固定負債		
役員退職慰労引当金	422,060	435,522
長期預り保証金	119,328	121,028
固定負債合計	541,388	556,550
負債合計	1,698,767	1,187,800
純資産の部		
株主資本		
資本金	387,800	387,800
資本剰余金	330,801	330,801
利益剰余金	5,953,912	5,794,866
自己株式	△815,212	△819,736
株主資本合計	5,857,300	5,693,730
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	778	558
評価・換算差額等合計	778	558
純資産合計	5,858,078	5,694,289
負債純資産合計	7,556,846	6,882,089

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,188,241	1,148,744
売上原価	332,507	307,912
売上総利益	855,734	840,831
販売費及び一般管理費	838,338	781,454
営業利益	17,395	59,377
営業外収益		
受取利息	472	466
受取配当金	1,620	1,503
受取賃貸料	1,565	1,542
その他	1,425	1,425
営業外収益合計	5,083	4,937
営業外費用		
たな卸資産廃棄損	1,858	3,056
その他	785	1,463
営業外費用合計	2,644	4,519
経常利益	19,835	59,795
税引前四半期純利益	19,835	59,795
法人税、住民税及び事業税	930	929
法人税等調整額	10,263	21,143
法人税等合計	11,194	22,072
四半期純利益	8,641	37,722

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

「II 当第1四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日) 2 報告セグメントの変更に
関する事項」に記載のとおりであります。

II 当第1四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当社は美容室向け頭髪用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、従来「トイレットリー事業」、「整髪料事業」、「カラー剤事業」、「育毛剤事業」、「パーマ剤事業」、「その他事業」の6事業を事業セグメントとしておりましたが、当第1四半期累計期間より「美容室向け頭髪用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業」の単一セグメントに変更しております。

当社の事業展開、経営管理体制の実態、また取締役会における経営資源の配分の決定及び事業の評価を一元的に行っていること等を踏まえ、事業セグメントについて再考した結果、業務用頭髪用化粧品等の製造及び販売を一体的な事業と捉えている現状を考慮し、事業セグメントは「美容室向け頭髪用化粧品、医薬部外品の製造、販売事業」の単一のセグメントが適切であると判断したことによるものであります。

この変更により、当第1四半期累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。